

新料金表改定案（H32年度改定、口径別）

現行「団体用」

【現行】 単位：円、消費税抜き、1ヶ月当り

用途	従量料金（㎡当り）			量水器使用料	
	基本料金 0～8㎡	9～20㎡	21㎡～	口径	使用料
団体用	1,050	145	193	13mm	75
				20mm	145
				25mm	175
				40mm	305
				50mm	1,110
				75mm	1,415
				100mm	2,135

平均使用水量	料金
5	1,125
15	2,210
40	6,825
104	19,307
360	69,520
684	132,357
1,128	218,769

【案1】 単位：円、消費税抜き、1ヶ月当り

口径	従量料金（㎡当り）			
	基本料金 0～8㎡	9～20㎡	21～50㎡	51㎡～
13mm	1,350	155	180	200
20mm	1,500			
25mm	2,450			
40mm	3,900			
50mm	8,500			
75mm	26,400			
100mm	48,100			

平均使用水量	料金	増額分	改定率
5	1,350	225	20.0%
15	2,585	375	17.0%
40	7,910	1,085	15.9%
104	21,960	2,653	13.7%
360	77,760	8,240	11.9%
684	160,460	28,103	21.2%
1,128	270,960	52,191	23.9%

□水道料金の改定について

内部留保資金残高	12億円程度を確保
建設改良費	年間4億円
企業債	1億円借入
増収目標額	2億円程度
基本料金・従量料金割合	基本料金31.37%、従量料金68.63%

□設定条件及び特徴

設定条件等	<ul style="list-style-type: none"> <li>○費用負担の公平と料金体系の明確性の確保を図るため、用途別から口径別への料金体系の見直しを図る。</li> <li>○平均改定率25%</li> <li>○13mm～20mm 20.0%、17.0%</li> <li>25mm 15.9%</li> <li>40mm～100mm 13.7%、11.9%、21.2%、23.9%</li> </ul>
特徴	<ul style="list-style-type: none"> <li>○現行の「団体用」料金体系は、「営業用」と同様に「一般用」に比べ負担割合が高く設定されていることから、結果として全ての口径において改定率は低くなる。（平均改定率25%）</li> <li>○基本料金35.89%、従量料金64.11%</li> </ul>

【案2】 単位：円、消費税抜き、1ヶ月当り

口径	従量料金（㎡当り）			
	基本料金 0～8㎡	9～20㎡	21～50㎡	51㎡～
13mm	1,250	160	180	200
20mm	1,700			
25mm	2,450			
40mm	3,900			
50mm	8,500			
75mm	26,400			
100mm	48,100			

平均使用水量	料金	増額分	改定率
5	1,250	125	11.1%
15	2,820	610	27.6%
40	7,970	1,145	16.8%
104	22,020	2,713	14.1%
360	77,820	8,300	11.9%
684	160,520	28,163	21.3%
1,128	271,020	52,251	23.9%

【案3】 単位：円、消費税抜き、1ヶ月当り

口径	従量料金（㎡当り）			
	基本料金 0～8㎡	9～20㎡	21～50㎡	51㎡～
13mm	1,200	145	185	230
20mm	1,330			
25mm	1,650			
40mm	3,800			
50mm	7,100			
75mm	19,400			
100mm	28,100			

平均使用水量	料金	増額分	改定率
5	1,200	75	6.7%
15	2,345	135	6.1%
40	7,090	265	3.9%
104	23,510	4,203	21.8%
360	85,690	16,170	23.3%
684	172,510	40,153	30.3%
1,128	283,330	64,561	29.5%

□設定条件及び特徴

設定条件等	<ul style="list-style-type: none"> <li>○平均改定率25%</li> <li>○13mm～20mm 11.1%、27.6%</li> <li>25mm 16.8%</li> <li>40mm～100mm 14.1%、11.9%、21.3%、23.9%</li> </ul>
特徴	<ul style="list-style-type: none"> <li>○「案1」に比べ、13mm小口径の改定率を下げ、一方で20mmの改定率を上げ、これにより全体で改定率25%に調整する。</li> <li>○「案1」に比べ、基本料金への負担割合は下がる（35.85%）が、従量料金への負担割合は上がる（64.15%）こととなる。</li> </ul>

□設定条件及び特徴

設定条件等	<ul style="list-style-type: none"> <li>○平均改定率25%</li> <li>○13mm～20mm 6.7%、6.1%</li> <li>25mm 3.9%</li> <li>40mm～100mm 21.8%、23.3%、30.3%、29.5%</li> </ul>
特徴	<ul style="list-style-type: none"> <li>○「案1」に比べ小口径の改定率をさらに低く抑える一方で、中口径の改定率を上げ、これにより全体で改定率25%に調整する。</li> <li>○基本料金の負担割合は最も低くなるが、口径間の改定率の格差は広がることとなる。</li> <li>○基本料金31.03%、従量料金68.97%</li> </ul>